第 171回　医療ビジネス研究会のご案内

少子化、高齢化が続く中、働き方にも大きなメスが入り、人に優しい社会になりつつありますが、人手不足、人材不足はあらゆる分野で顕在化しています。処遇改善、リスキリング等、事業者ができる事から、税や制度の改革など公が対応する事柄まで、紆余曲折はあるものの流れは変わらないようです。

仕事から離れている女性、シニア層、更には外国人の掘起こしなども活発化していますが、医療・福祉分野の人材不足は引続き深刻です。人の命や健康を支える分野ですので、24時間365日休むことはありません。長らく3K 職種（労働条件が厳しい職業）の一つとして認識される傾向が有りましたが、資格要件もあるため慢性的労働力不足が続いています。

厚生労働省によると、2025 年までに必要な看護師数は 188～202 万人と想定されていますが、2025 年の看護師数は 175～182 万人と想定されており、最大で 27 万人もの看護師が不足する見込みです。看護師の不足が予想されている要因のひとつに高齢者の増加があります。日本は高齢者人口の増加が続いていますので、看護師の需要は今後ますます高まると予想されています。

高齢者の増加と医療技術の進展は看護師不足のみならず、医療技師や介護士などの人材不足も年々深刻になっています。仮に有資格者を増やしても、報酬や働き方(労働環境)などにおいても制度上の制約が壁となり、容易には課題解決に至らず恒常的な人材不足が続いています。

今回は長年 ODA（政府開発援助/Official Development Assistance）に携われた、北海道文教大学の青氏をお招きし、同大学の看護師、理学療法士、作業療法士等の医療分野における教育活動を中心にお話し戴きます。国際化とは文化、経済のみならず福祉や生活をも含む社会の同質化でもあります。

大学教育が福祉分野の課題解決に貢献できるのか、世界的にも注目されている日本の医療や福祉は国際化に貢献できるのか、教育機関の新たな可能性をお話し頂きます。
医療・福祉事業に携わる方のみならず、ODA や開発支援に関わる方、国際化を目指す事業者や教育関係者には是非ともご参加頂き、意見交換して戴きたくご案内申し上げます。

2024年　11月
特定非営利活動法人 医療事業再生機構

記

- テーマ:「医療・福祉分野の国際化の可能性」 =教育現場から見える近未来=
- 講　師:青　晴海　氏　北海道文教大学 副学長、国際学部長、国際交流センター長
- 開催日時:2024年11月29日（金曜日）18:15～20:00

以上

※ 医療ビジネス研究会の参加には受講票が必要です。